

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証してください。実績の検証は法人ごとに行うものであり、法人間の比較を行うものではありません。

委員氏名 [ ]

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

4ブロック：2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立～ 2-2-3 費用の削減

2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院							
H24年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					
		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価				
<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築  <b>項目番号 45</b>                      理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう診療体制を引き続き確保するための弾力的な組織づくりを進める。</p>		<p>・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。                      ※医療クラーク：10人増（38人→48人）                      ・また、併せて事務局体制を強化するため、新棟建設企画監を新設する組織改正を行った。</p>		III	<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築  <b>項目番号 41</b>                      医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応できるよう、経営企画機能の強化を図る。                       DPC環境下における病院収益向上を目指し、「医事課」の診療報酬部門の強化を図る。</p>		<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築                       ・医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応するため、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。                       ・医事課内に診療報酬担当を新設し、診療報酬請求の的確化と効率化を図った。</p>		III	<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築  <b>項目番号 36</b>                      理事長のリーダーシップが発揮できる組織体制を構築するとともに、事務部門の組織体制の強化を図る。</p>		<p>病院の経営分析や改善を図るため、平成25年度からの導入に向けて事務部門に経営企画機能を持つ組織体制づくりに取り組んだ。</p>		III	
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22検証結果	H23検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22検証結果	H23検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22検証結果	H23検証結果
				III	III					III	III				
<p>(2) 各種業務のIT化の推進  <b>項目番号 46</b>                      人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどの機能見直しを随時実施し、効率的な事務環境を作り上げていく。</p>		<p>・ASPサービスの利用により人事・給与システムを導入するとともに、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算ソフトにより、旅費計算事務の効率化を図っている。</p>		III	<p>(2) 各種業務のIT化の推進  <b>項目番号 42</b>                      電子カルテシステムを、より有効に活用するとともに診療業務、病院業務の効率化を図るための可搬端末導入に向け検討を行う。                       医療総合情報システムや人事給与システムなど各種事務処理にITを活用することで、事務の合理化を図る。</p>		<p>(2) 各種業務のIT化の推進                       ・電子カルテシステムの仕様や現場の要望を満たす可搬端末の選定、検討を行い、トリアージ用の端末を試験的に運用した。                       ・各種文書作成にかかる医師の負担を軽減するための医療用文書作成支援システム導入に向け、院内のネットワーク環境を整備し、平成25年度に運用が開始できるよう準備を行った。</p>		III	<p>(2) 各種業務のIT化の推進  <b>項目番号 37</b>                      人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどのITを有効に活用するための研修会を開催する。</p>		<p>・人事給与システム操作研修                      新任、転任の事務職員に対し、操作研修を実施した。                      研修開催日：平成24年5月22日                      参加人数：4名</p>		III	
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22検証結果	H23検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22検証結果	H23検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22検証結果	H23検証結果
				III	III					III	III				

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院						
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			
<p>(3) アウトソーシング導入による合理化 <b>項目番号 47</b> アウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。委託事業についての費用対効果等については事務局においてチェックを行う。</p>	<p>・庁舎管理部門（清掃、設備監視、防災他）や医療部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを有する部門について、アウトソーシングを導入しているが、特に情報業務システム関連業務、SPD業務の契約において、平成23年度に質・量の徹底的な見直ししたことによって、平成24年度の契約において、大幅な経費節減を実現できた。</p> <p>・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。</p> <p>アウトソーシング導入件数</p> <table border="1"> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> <tr> <td>1,857 件</td> <td>2,601 件</td> <td>3,272 件</td> </tr> </table> <p>※電子カルテシステム中のデータをCD出力した件数</p>	H22	H23	H24	1,857 件	2,601 件	3,272 件	III	<p>(3) アウトソーシング導入による合理化 <b>項目番号 43</b> 業務の性質や費用対効果等を勘案のうえ、アウトソーシングの導入を検討し、業務のスリム化を図る。</p>	<p>(3) アウトソーシング導入による合理化</p> <p>・物流管理システム（SPD）改善検討の中で日常業務の検証を行い、スリム化についても検討を行った。</p> <p>・外来駐車場の有料化に伴い発生する駐車場の料金収入の範囲内で、駐車場の管理運営業務全般を外部委託し、運営経費を削減した。</p>	III	<p>(3) アウトソーシング導入による合理化 <b>項目番号 38</b> 定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を検討する。</p>	<p>アウトソーシングの導入可能な定期的な業務の検討を行ったものの、H24年度において導入可能な事案がなかったが、今後は新病院の運営を考えて検討を行う。</p> <p>※平成24年度末 業務委託件数64件</p>	II
H22	H23	H24												
1,857 件	2,601 件	3,272 件												
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	H23 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	H23 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 II	H23 検証結果 II	検証結果			
<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 <b>項目番号 48</b> 機動的、効率的な病院運営を図り平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組むとともに、積極的に各種研修会に参加するなど地方独立行政法人化に合わせて整備した経営企画機能部門・人事労務管理部門を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を確立する。</p>	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立 経営企画課において、経営分析等を行うことで、経営改善すべき点の把握につとめ、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。</p>	III	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 <b>項目番号 44</b> 病院の政策企画部門として、「経営企画課」が中心となって、高精度放射線治療センターや精神科病棟の効率的稼働に向け、広報活動等を推進するほか、病院経営における医療情報分析や需要予測の側面も強化する。</p> <p>医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図る。</p> <p>地域医療連携センターを中心に各診療科、中央放射線部、臨床検査科等が連携を密にし、高度医療機器の利用予約のあり方等について改善を図り、利用を促進する。</p> <p>診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士の資格取得を支援する。</p>	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>・高精度放射線治療センターや精神科病棟をオープンした。効率的な稼働に向け、各種広報活動を行った。</p> <p>・医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の確化と効率化を図った。</p> <p>・地域医療連携センターを中心に各診療科、中央放射線部、臨床検査科等が連携を密にし、高度医療機器の利用予約のあり方等について改善を図り、利用を促進した。</p> <p>・診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士の資格取得を支援した。</p>	III	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 <b>項目番号 39</b> 経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努め、「企業体意識」の向上を目指す。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。さらに、各種経営分析を行い、その結果を経営に活用できる体制づくりに取り組む。</p>	<p>毎月最終木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。必要に応じ行われる労使間の協議会や意見交換会で交わされた業務や経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い職場づくりに努めた。</p> <p>【労使協議会実施日】8/28, 3/21 【意見交換会実施日】12/21, 2/13</p> <p>また、月次決算状況を理事長に提出する時には月次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制づくりに努めた。</p> <p>定年となった職員については、本人の勤務評価・能力等を考慮した上で、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備した。</p>	II						
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	H23 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	H23 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	H23 検証結果 II	検証結果			

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院			
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	
			(5) 時差出勤制度の導入 <b>項目番号 45</b> 女性医師を中心とした希望者に対し、時差出勤や短時間勤務などの利用を進め、勤務の負担軽減を図ることで、ワークライフバランスの推進を図る。	(5) 時差出勤制度の導入 ・女性医師2名に短時間勤務制度（週20時間、30時間）を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。	III				
			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	
					III	III			

# 県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

## 2-1-2 組織体制、人員配置の弾力的運用

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(1) 弾力的運用の実施 <b>項目番号 49</b> 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。</p> <p>平成23年度は、成人先天性心疾患診療科、心臓カテーテル室、専門外来（女性、頭痛、ものわすれ）、母胎科、救急外科、総合リハビリテーションセンターを設置した。</p>	<p>・平成24年度においては、脳卒中内科、脳卒中外科、内視鏡外科、成育医療科、病理センター・病理診断連携科、高血圧科、頭頸部外科等を設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</p>	III	<p>(1) 弾力的運用の実施 <b>項目番号 46</b> リハビリテーション科において、土曜診療を開始することにより入院患者に対する治療の質の改善を図る。</p> <p>病棟ごとに専任の薬剤師を配置し、医師の負担軽減とより安全・適切な薬物療法の実施を図る。</p> <p>専門看護師が複数の診療科における医療活動に携わることができるなど機動性が発揮出来る体制とする。</p>	<p>(1) 弾力的運用の実施</p> <p>・リハビリテーション科に専従の医師を配置し、土曜診療を開始した。入院患者に対するリハビリ中断期間を短縮でき、治療効果が向上した。</p> <p>・病棟ごとに専任の薬剤師を配置した。入院時の持参薬確認、服薬指導に加え、医薬品に関する安全情報の収集、患者への治療方針説明時のフォローなどを行い、医師をはじめとした医療従事者の負担が軽減した。</p> <p>・専門看護師が複数の診療科における医療活動に携わることができるなど機動性が発揮できる体制を整えた。</p> <p>・看護体制の強化のため以下の取り組みを行った。 ①夜勤専従看護師の配置 救命センター及び救急外来の夜間勤務に従事する看護師の制度化 ②短時間就労制の実施 働き手のニーズに合わせ週1回、1日1時間以上の勤務を提案 ③職場復帰支援プログラムの実施 復帰に不安を抱えている離職者のための託児付き復帰支援制度を構築</p> <p>・地域医療連携推進協議会を年4回開催し、地域内の医療関係者等から意見聴取を行った。また、登録医を中心に訪問活動を実施し、医療ニーズの把握に努めた。 【地域医療連携推進協議会開催実績】 第1回(5/11)、第2回(8/23)、第3回(11/15)、第4回(2/22) 【登録医等への訪問実績】 109施設</p>	III	<p>(1) 弾力的運用の実施 <b>項目番号 40</b> 医療需要の変化や患者の動向に迅速に対応するため、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用に努める。特に看護師については業務量に応じ柔軟な職員配置を行うとともに、適材適所の人事に努める。</p>	<p>【柔軟な勤務配置】 看護部では状況に応じてタイムリーな支援体制を構築するように入退院患者数や看護必要度の把握と支援状況の周知を行った。それによりスタッフの支援に対する意識も高まり、支援を受ける側は支援者が支援しやすいように支援業務を明確にした。また、業務が煩雑なところを支援することが定着してきた。 全部署からの支援時間数 H23 3,075.6時間 → H24 6,275.8時間</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
	H22 検証 結果	H23 検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果
	III	III		III	III		III	III

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																						
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																					
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																																				
<p>(2) 効果的な体制による医療の提供</p> <p><b>項目番号50</b></p> <p>常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。</p> <p>特に、医療職サポートシステム(医師事務作業補助職員：32人(平成23年度)→39人、看護事務補助職員：20人(平成23年度)→25人)の強化、充実を図る。</p>	<p>・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。</p>	IV	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供</p> <p><b>項目番号47</b></p> <p>医師事務作業補助者の業務の質の向上を図るとともに、「30:1」補助体制加算の早期導入を進める。</p>	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供</p> <p>・医師事務作業補助者を増員し、8診療科の運用を15診療科に拡大するとともに「30:1」補助体制加算を導入した。外来の全診療科へ配置し、文書作成オーダー入力業務などを補佐し、医師の業務負担軽減を図った。</p> <p>また、病棟事務補助者を9名から11名に増員し、看護師の業務負担軽減を図った。</p> <p><b>【医師事務作業補助者配置部署】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・内科</td> <td>・内科</td> <td>・内科</td> <td>・耳鼻いんこう科</td> </tr> <tr> <td>・整形外科</td> <td>・整形外科</td> <td>・整形外科</td> <td>・小児科</td> </tr> <tr> <td>・中央手術室</td> <td>・中央手術室</td> <td>・中央手術室</td> <td>・皮膚科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外科</td> <td>・外科</td> <td>・中央放射線科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・脳神経外科</td> <td>・脳神経外科</td> <td>・精神科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・泌尿器科</td> <td>・泌尿器科</td> <td>・神経内科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・産婦人科</td> <td>・産婦人科</td> <td>・眼科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・歯科口腔外科</td> <td>・歯科口腔外科</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【医師・看護師事務作業補助者数】(各年度末時点)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者(医療クラーク)</td> <td>7人</td> <td>16人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者(看護クラーク)</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15人</td> <td>25人</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table> <p>連携コーディネーターによる連携バスの普及や運用の推進を継続するとともに連携室と相談室との一体化を図り、連携センターの充実、安定した紹介患者受入れなど、連携強化を図る。</p> <p>・連携バスコーディネーターを中心に地域医療連携バスの普及や運用の促進を行った。特に、狭心症・心筋梗塞バスの運用件数増加や、新たにスタートした糖尿病バスの普及に努めた。また独自に運用していた5大がんバスの県内統一様式への移行に向け登録医への訪問活動に尽力した。</p> <p>・地域医療連携センターの執務室を統合したことにより、地域医療連携バス適用者に関する紹介、逆紹介の情報が担当間でフレキシブルに共有できるようになった。迅速な対応が可能となったとともに、各種統計データの作成、分析が円滑に行えるようになった。</p> <p>・入院案内センターへ派遣職員を配置し、円滑な入院案内とこれによる医療職の負担軽減、患者サービスの向上を図った。同様に診療録管理室への配置により、円滑な院内がん登録作業の遂行を図った。</p>	H22	H23	H24		・内科	・内科	・内科	・耳鼻いんこう科	・整形外科	・整形外科	・整形外科	・小児科	・中央手術室	・中央手術室	・中央手術室	・皮膚科		・外科	・外科	・中央放射線科		・脳神経外科	・脳神経外科	・精神科		・泌尿器科	・泌尿器科	・神経内科		・産婦人科	・産婦人科	・眼科		・歯科口腔外科	・歯科口腔外科		区分\年度	H22	H23	H24	医師事務作業補助者(医療クラーク)	7人	16人	24人	病棟事務補助者(看護クラーク)	8人	9人	11人	合計	15人	25人	35人	III	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供</p> <p><b>項目番号41</b></p> <p>職種の特長性に基づき、多様な勤務形態の非常勤専門職を活用することで、効率的に医療を提供する。</p> <p>また、各医療現場のニーズにあった適正な人材確保に努める。</p>	<p><b>【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】</b></p> <p>◆看護部では看護協会WLBの推進を受けて働きやすい職場作りを目指し勤務体制の検討に取り組んだ。看護必要度の高い時間帯に人員が配置できるように遅出・早出時間の検討を行い、週30時間勤務の非常勤職員も祝日等を含めた早出・遅出勤務を試行的に行うことで効率的な7:1看護体制の維持に取り組んだ。</p> <p>◆医師事務作業補助者(医療クラーク)については、計画的な配置により、医師の事務負担の軽減を図った。具体的には平成24年度は新たに2人養成するとともに施設基準による「医師事務作業補助加算」についても、平成24年5月から100:1から75:1へランクアップさせた。</p> <p>総合サポートセンター地域連携室に、医事業務専門職に加えて、さらに常勤職員を1人配置し、センター窓口業務、他院紹介患者の予約管理等業務の円滑な遂行を図った。</p> <p>外来受付(内科、耳鼻咽喉科、皮膚科)に窓口業務専門職4人を配置し、外来受付、診断書受付等業務の円滑な遂行を図った。</p> <p>医事担当に医事業務専門職1人を配置し、未収金管理、医業収入の調定、収納等の業務の効率的な遂行を図った。</p> <p>医師・看護師事務作業補助者数(各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>医事事務専門職</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	医療クラーク	3名	4名	6名	医事事務専門職	6名	6名	6名	看護クラーク	-	-	-	IV
H22	H23	H24																																																																										
・内科	・内科	・内科	・耳鼻いんこう科																																																																									
・整形外科	・整形外科	・整形外科	・小児科																																																																									
・中央手術室	・中央手術室	・中央手術室	・皮膚科																																																																									
	・外科	・外科	・中央放射線科																																																																									
	・脳神経外科	・脳神経外科	・精神科																																																																									
	・泌尿器科	・泌尿器科	・神経内科																																																																									
	・産婦人科	・産婦人科	・眼科																																																																									
	・歯科口腔外科	・歯科口腔外科																																																																										
区分\年度	H22	H23	H24																																																																									
医師事務作業補助者(医療クラーク)	7人	16人	24人																																																																									
病棟事務補助者(看護クラーク)	8人	9人	11人																																																																									
合計	15人	25人	35人																																																																									
	H22	H23	H24																																																																									
医療クラーク	3名	4名	6名																																																																									
医事事務専門職	6名	6名	6名																																																																									
看護クラーク	-	-	-																																																																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																																																																	
	III	IV			III	IV			III	IV																																																																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																														
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																													
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																																																																																																																												
<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p><b>項目番号 51</b></p> <p>地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うことで、職種による人材の過不足を相互に補い、適正な職員配置を実現する。</p> <p>障がい者雇用の促進 平成24年1月～12月の間で、障がい者を3.5人雇用する。</p>	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）を実施した。</p> <p>・人事交流実績（出向）</p> <p>他法人からの出向（受入）3人 [看護師（下呂温泉病院2人）、助産師（下呂温泉病院1人）]</p> <p>他法人への出向 2人 [コメディカル（下呂温泉病院2人）]</p> <p>職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>歯科医師</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>1</td><td>1</td><td>—</td></tr> <tr><td>准看護師</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>コメディカル</td><td>10</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11</td><td>5</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> <p>他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>歯科医師</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>1</td><td>2(3)</td><td>2(1)</td></tr> <tr><td>准看護師</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>コメディカル</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2</td><td>4(3)</td><td>3(1)</td></tr> </tbody> </table> <p>※看護師欄にある（ ）は、助産師数</p> <p>平成24年度 障がい者雇用数 1人</p>		H22	H23	H24	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	1	1	—	准看護師	—	—	—	コメディカル	10	4	2	合計	11	5	2		H22	H23	H24	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	1	2(3)	2(1)	准看護師	—	—	—	コメディカル	1	2	1	合計	2	4(3)	3(1)	III	<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p><b>項目番号 48</b></p> <p>適正な職員確保及び配置を図るため、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間で、人事交流調整を引き続き進める。特に看護師、薬剤師、臨床検査技師といった医療技術職員を相互に派遣し、各地域における医療サービスの水準を維持する。</p> <p>【職員の他法人への出向状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分\年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td></tr> <tr><td>コメディカル</td><td>7人</td><td>3人</td><td>1人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>7人</td><td>3人</td><td>1人</td></tr> </tbody> </table> <p>(派遣先、職種別内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>派遣先</th><th>人数及び職員の内訳</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>下呂温泉病院</td><td>臨床検査技師 1名</td></tr> </tbody> </table> <p>【他法人職員の受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分\年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>2人</td><td>2人</td><td>1人</td></tr> <tr><td>コメディカル</td><td>6人</td><td>3人</td><td>1人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>8人</td><td>5人</td><td>2人</td></tr> </tbody> </table> <p>(派遣元、職種別内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>派遣元</th><th>人数及び職員の内訳</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>岐阜県総合医療センター</td><td>薬剤師 1名</td></tr> <tr><td>下呂温泉病院</td><td>看護師 1名</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医師	0人	0人	0人	コメディカル	7人	3人	1人	合計	7人	3人	1人	派遣先	人数及び職員の内訳	下呂温泉病院	臨床検査技師 1名	区分\年度	H22	H23	H24	医師	0人	0人	0人	看護師	2人	2人	1人	コメディカル	6人	3人	1人	合計	8人	5人	2人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	下呂温泉病院	看護師 1名	III	<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p><b>項目番号 42</b></p> <p>地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院間での人事交流を積極的に行うことで、適正な人員配置を実現する。</p> <p>平成24年度も引き続き、職種による人員の過不足に対処するため、3法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を維持する。</p> <p>地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院ととの間で「職員の出向に関する協定書」を締結して、3病院間で過不足となる医療従事者の派遣を行い、医療サービスの水準を維持するための人員配置を行った。</p> <p>・H24の状況</p> <p>◆センター→下呂 臨床工学技士 2名（6ヶ月） 臨床工学技士 1名（3ヶ月）</p> <p>◆下呂→センター 看護師 1名 看護師 1名（8ヶ月） 助産師 1名（3ヶ月）</p> <p>◆多治見→下呂 臨床検査技師 1名</p> <p>◆下呂→多治見 看護師 1名</p> <p>他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>職種</th><th>22年度</th><th>23年度</th><th>24年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>看護師</td><td>2名</td><td>3名</td><td>3名</td></tr> <tr><td>助産師(短期)</td><td></td><td>3名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>1名</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>1名</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>1名</td><td>1名</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>5名</td><td>7名</td><td>4名</td></tr> </tbody> </table> <p>他法人からの受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>職種</th><th>22年度</th><th>23年度</th><th>24年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬剤師</td><td>3名</td><td>2名</td><td></td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>4名</td><td>2名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>1名</td><td>1名</td><td>3名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>2名</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>3名</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>13名</td><td>5名</td><td>4名</td></tr> </tbody> </table>	職種	22年度	23年度	24年度	看護師	2名	3名	3名	助産師(短期)		3名	1名	薬剤師	1名			放射線技師	1名			理学療法士	1名	1名		計	5名	7名	4名	職種	22年度	23年度	24年度	薬剤師	3名	2名		検査技師	4名	2名	1名	臨床工学技士	1名	1名	3名	理学療法士	2名			作業療法士	3名			計	13名	5名	4名	III
			H22	H23	H24																																																																																																																																																															
医師	—	—	—																																																																																																																																																																	
歯科医師	—	—	—																																																																																																																																																																	
看護師	1	1	—																																																																																																																																																																	
准看護師	—	—	—																																																																																																																																																																	
コメディカル	10	4	2																																																																																																																																																																	
合計	11	5	2																																																																																																																																																																	
	H22	H23	H24																																																																																																																																																																	
医師	—	—	—																																																																																																																																																																	
歯科医師	—	—	—																																																																																																																																																																	
看護師	1	2(3)	2(1)																																																																																																																																																																	
准看護師	—	—	—																																																																																																																																																																	
コメディカル	1	2	1																																																																																																																																																																	
合計	2	4(3)	3(1)																																																																																																																																																																	
区分\年度	H22	H23	H24																																																																																																																																																																	
医師	0人	0人	0人																																																																																																																																																																	
コメディカル	7人	3人	1人																																																																																																																																																																	
合計	7人	3人	1人																																																																																																																																																																	
派遣先	人数及び職員の内訳																																																																																																																																																																			
下呂温泉病院	臨床検査技師 1名																																																																																																																																																																			
区分\年度	H22	H23	H24																																																																																																																																																																	
医師	0人	0人	0人																																																																																																																																																																	
看護師	2人	2人	1人																																																																																																																																																																	
コメディカル	6人	3人	1人																																																																																																																																																																	
合計	8人	5人	2人																																																																																																																																																																	
派遣元	人数及び職員の内訳																																																																																																																																																																			
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																																																																																																																																																			
下呂温泉病院	看護師 1名																																																																																																																																																																			
職種	22年度	23年度	24年度																																																																																																																																																																	
看護師	2名	3名	3名																																																																																																																																																																	
助産師(短期)		3名	1名																																																																																																																																																																	
薬剤師	1名																																																																																																																																																																			
放射線技師	1名																																																																																																																																																																			
理学療法士	1名	1名																																																																																																																																																																		
計	5名	7名	4名																																																																																																																																																																	
職種	22年度	23年度	24年度																																																																																																																																																																	
薬剤師	3名	2名																																																																																																																																																																		
検査技師	4名	2名	1名																																																																																																																																																																	
臨床工学技士	1名	1名	3名																																																																																																																																																																	
理学療法士	2名																																																																																																																																																																			
作業療法士	3名																																																																																																																																																																			
計	13名	5名	4名																																																																																																																																																																	
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																																																																																																																																																									
	III	III			III	III			III	III																																																																																																																																																										

# 県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

## 2-1-3 人事評価システムの構築

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するため、県内・他県の先進事例を参考に、独自の人事評価制度の構築に向け引き続き検討する。</p> <p><b>項目番号 52</b></p>	<p>&lt;人事評価制度構築への取り組み状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の構築作業が円滑かつ効果的に推進するよう、専門業者に事業を委託し、制度の構築及び職員に対する研修業務等を実施した（業者はプロポーザル方式により選定）。</li> <li>○1～2回/月の頻度で人事評価制度検討委員会を開催し、制度の基本設計及び詳細設計等を検討し、制度を構築した。</li> <li>○職員に対する説明会及び評価者に対する研修会を実施（3/25, 27）し、平成25年度には3診療科、看護部、薬剤部、中央放射線部、事務局を抽出して試行を実施する段階に達した。</li> </ul>	IV	<p>職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映する公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて、コンサルタントの活用も含め、具体的な検討に着手する。</p> <p><b>項目番号 49</b></p>	<p>職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するため、コンサルタントへ業務委託し、当院独自の制度の構築を検討した。</p>	III	<p>職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映した公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて検討を行う。</p> <p><b>項目番号 43</b></p>	<p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成24年度は既に導入している岐阜県総合医療センターのオブザーバーとして参加した。</p>	II
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
	H22 検証 結果	H23 検証 結果	H22 検証 結果	H23 検証 結果	H22 検証 結果	H23 検証 結果	H22 検証 結果	H23 検証 結果
	III	III		III	III		II	III

# 県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

## 2-1-4 事務部門の専門性の向上

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																													
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																											
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																																																											
<p>・新たに必要となった人事労務機能の強化のため、総務課内に設置した「人事労務担当」、経営管理機能を強化するために設置した「経営企画課」に関して、更なる専門性の向上を図る。</p> <p>そのため、平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組み、新人職員の院内研修を行うとともに人事・労務管理に関する研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修、医事管理の専門研修などへの参加を支援するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に採用し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。</p> <p><b>項目番号53</b></p>		<p>・事務局に新棟建設企画監を設置するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に採用（事務職員5人）し病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保した。</p> <p>・経営企画課主導による経営状況の分析、課題への取組等について経営会議において検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み収益の増加やコスト削減に寄与した。また、専門性の向上のため、職務に関連する研修の参加を支援した。</p> <p>・経営会議 月1回開催 毎月の経営状況の把握、診療科別損益計算やDPC係数等収益性の向上を課題として実施した。</p> <p>・施設基準 診療内容を精査した上で、必要な項目を届出することで、収益性の向上に取り組んだ。</p> <p>事務職員の状況 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>1人</td> <td>10人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>26人</td> <td>28人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27人</td> <td>38人</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	H24	プロパー職員	1人	10人	14人	県派遣職員	26人	28人	26人	合計	27人	38人	40人	<p>III</p> <p>医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図る。</p> <p>診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士の資格取得を支援する。</p> <p>経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進める。</p> <p>プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、企業会計等に精通した外部人材の確保に引き続き取り組む。</p> <p><b>項目番号50</b></p>		<p>・医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図った。</p> <p>・試験合格及び採用により新たに院内で3名の診療情報管理士を確保した。また、診療情報管理士資格取得のための研修について、すでに受講中の職員4人に加え、新たに3名に受講の支援を行った。</p> <p>・経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進めた。</p> <p><b>【研修参加実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修会名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24.5.25</td> <td>経営戦略セミナー</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H24.9.12</td> <td>人事評価制度の構築セミナー</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H25.2.15</td> <td>人事・労務セミナー</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・民間企業等での実務経験を持つ人材を対象に事務職員の採用試験を実施した。</p> <p><b>【事務職員の状況】 (各年度末時点)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>8人</td> <td>20人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>23人</td> <td>15人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31人</td> <td>35人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	研修会名	参加者数	H24.5.25	経営戦略セミナー	1名	H24.9.12	人事評価制度の構築セミナー	1名	H25.2.15	人事・労務セミナー	1名	区分\年度	H22	H23	H24	プロパー職員	8人	20人	26人	県派遣職員	23人	15人	10人	合計	31人	35人	36人	<p>III</p> <p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するとともに、プロパー職員には診療報酬事務、病院経営等の専門研修に積極的に出席させるなど、事務部門の専門性の向上に努める。</p> <p>また、診療報酬事務担当職員及び経営事務担当職員を各種団体が実施する専門研修に出席させることとともに、病院経営幹部職員も各種病院マネジメント研修を受講し、経営改善に役立てる。</p> <p><b>項目番号44</b></p> <p>平成24年度プロパー事務職員採用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療サービス課配置 2名</li> <li>10月には新規採用職員の研修を実施</li> </ul> <p>事務局職員の専門性向上のための研修等受講状況</p> <p><b>【医療サービス課職員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労災診療費算定実務研修 1名</li> <li>・医師事務作業補助者養成研修 5名</li> </ul> <p><b>【総務課職員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院会計基礎実務研修 1名</li> <li>・病院管理研修 1名</li> <li>・病院会計基礎実務マスター研修 1名</li> </ul> <p><b>【健康診断センター職員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診センター運営強化実践セミナー 1名</li> </ul> <p>事務職員の状況 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td></td> <td>5名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>22名</td> <td>19名</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22名</td> <td>24名</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table>			22年度	23年度	24年度	プロパー職員		5名	7名	県派遣職員	22名	19名	17名	合計	22名	24名	24名
	H22	H23	H24																																																																		
プロパー職員	1人	10人	14人																																																																		
県派遣職員	26人	28人	26人																																																																		
合計	27人	38人	40人																																																																		
開催日	研修会名	参加者数																																																																			
H24.5.25	経営戦略セミナー	1名																																																																			
H24.9.12	人事評価制度の構築セミナー	1名																																																																			
H25.2.15	人事・労務セミナー	1名																																																																			
区分\年度	H22	H23	H24																																																																		
プロパー職員	8人	20人	26人																																																																		
県派遣職員	23人	15人	10人																																																																		
合計	31人	35人	36人																																																																		
	22年度	23年度	24年度																																																																		
プロパー職員		5名	7名																																																																		
県派遣職員	22名	19名	17名																																																																		
合計	22名	24名	24名																																																																		
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																																													
		H22 検証 結果	H23 検証 結果			H22 検証 結果	H23 検証 結果			H22 検証 結果	H23 検証 結果																																																										
		III	III			III	III			III	III																																																										

# 県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

## 2-2-1 多様な契約手法の導入

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院					
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			
<p>入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。 <b>項目番号 54</b></p>		<p>・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。 ・各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い効率的管理を推進した。 ・診療情報システム及び同ネットワークに係る保守管理については前年度に実施した委託業務の見直し結果を活用し、大幅な削減効果を得られた。</p>		<p>IV</p> <p>「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、効率的な契約手法や費用について検討を行う。 <b>項目番号 51</b></p>		<p>・「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、医療機器購入価格や医薬品、診療材料契約単価について精査し価格交渉を実施した。 ・医療機器保守委託について、既存の複数年契約についても価格協議を行い、費用の節減に努めた。 ・清掃業務を集約化し、業務委託経費を節減した。</p>		<p>III</p> <p>民間病院の取り組みを参考に、維持管理業務委託などで複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。 特に、高度医療機器については、購入後のメンテナンス費用も考慮する必要があることから、メンテナンス契約における競争原理の導入などの経費削減方法の検討を行う。 <b>項目番号 45</b></p>		<p>【管財】 維持管理業務について、従来より単年度で契約していた業務について、平成23年度から3年間の複数年契約とし、契約事務の集約化・簡素化・効率化を図ると共に経費節減に努めた。 ・警備・電話交換業務 ・機械及び監視室等保全管理業務 ・建物清掃委託業務 ・消防設備保守点検業務</p> <p>【用度】 医療機器保守委託業務について平成23年度に引き続き入札・見積合わせ等の競争原理を導入し、経費の節減を図った。また高度医療機器（X線CT装置）における保守委託業務について複数年契約を行ったことにより事務の簡素化が図られた。 なお、購入後のメンテナンス費用も含めた総額入札を行う場合は、メンテナンス業務が購入先でしか行えないことが前提となることから、これらを踏まえた運用について検討した。</p> <p>【医療サービス課】 電子カルテシステムの更新に伴い、ネットワーク構築関係工事について、本体工事と併せて保守（5年間）経費も含めた入札を執行し、経費削減に努めた。</p>		<p>III</p>	
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				◎特筆すべき点・進捗状況に関する意見・その他コメント					
		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果		H22 検証 結果		H23 検証 結果		検証 結果			
		III	IV			IV		III					

# 県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

## 2-2-2 収入の確保

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																						
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																																																																																																																				
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																																																																																					
<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 <b>項目番号 55</b> 担当看護師の配置と空床管理マニュアルにより、効率的な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。</p>	<p>・地域の医療機関等との連携として、共同指導、病床(100床)・設備の開放を行い、病診連携を推進した。 ・開放型病床利用率、共同指導回数(月平均)の推移</p> <table border="1"> <tr><th>項目・年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>共同指導(回)</td><td>12.7</td><td>12.6</td><td>15.5</td></tr> <tr><td>病床利用率</td><td>75.1%</td><td>66.3%</td><td>48.9%</td></tr> </table> <p>・MRI、CT、胃カメラ等の検査は登録医からの FAXにより気軽に予約が可能となっている。</p> <p>○実績</p> <table border="1"> <tr><th>項目・年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>FAX 予約</td><td>1,253</td><td>1,173</td><td>1,087</td></tr> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	共同指導(回)	12.7	12.6	15.5	病床利用率	75.1%	66.3%	48.9%	項目・年度	H22	H23	H24	FAX 予約	1,253	1,173	1,087	III	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 <b>項目番号 52</b> クリニカルパスの効率的な運用及び診療録管理における適切なコーディングの検証を進め、医業収益の向上を図る。</p> <p>DPCデータを元にした診療情報の活用を進めるとともに、入院診療の効率化を図ることにより効率的な病床運用を進める。</p>	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <p>・クリニカルパスに関連するDPCデータの検証を行った。 ・これまで業務委託により実施してきたDPCコーディングの検証について、一部を職員で実施することとし、知識向上に努めた。</p> <p>・DPCコーディングについて検証するため、医師を含めた「レセフォローアップ」を開催し、適正なコーディングに努め、収益増に寄与した。(24回開催) ・平均在院日数と入院収益の関連について診療報酬委員会、管理会議への報告を行い、入院収益の向上、効率的な医療の推進に努めた。</p> <p><b>【病床管理状況の年度比較】</b></p> <table border="1"> <tr><th>項目\年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>病床稼働率 (%)</td><td>77.0</td><td>77.2</td><td>79.9</td></tr> <tr><td>平均在院日数 (全体)</td><td>13.0</td><td>13.2</td><td>12.9</td></tr> <tr><td>平均在院日数 (一般)</td><td>12.9</td><td>12.9</td><td>12.4</td></tr> <tr><td>一日当たり外来患者数</td><td>1,145</td><td>1,158</td><td>1,184</td></tr> <tr><td rowspan="3">患者1人当たり 診療単価 (円)</td><td>入院 (全体)</td><td>54,931</td><td>55,134</td><td>56,795</td></tr> <tr><td>入院 (一般)</td><td>-</td><td>55,469</td><td>58,075</td></tr> <tr><td>外来</td><td>12,161</td><td>12,689</td><td>13,412</td></tr> </table>	項目\年度	H22	H23	H24	病床稼働率 (%)	77.0	77.2	79.9	平均在院日数 (全体)	13.0	13.2	12.9	平均在院日数 (一般)	12.9	12.9	12.4	一日当たり外来患者数	1,145	1,158	1,184	患者1人当たり 診療単価 (円)	入院 (全体)	54,931	55,134	56,795	入院 (一般)	-	55,469	58,075	外来	12,161	12,689	13,412	III	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 <b>項目番号 46</b> 病床利用率については、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き行う。 医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の点から開業医等の受託促進に努める。</p> <p>病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施。 平成24年4月1日付で病床利用実態に合わせて、届出病床数を325床から255床に変更した。</p> <p>◆病床利用率</p> <table border="1"> <tr><th>病棟</th><th>22年度</th><th>23年度</th><th>24年度</th></tr> <tr><td>A-3</td><td>59.7%</td><td>58.5%</td><td>78.3%</td></tr> <tr><td>A-5</td><td>54.3%</td><td>33.0%</td><td>27.6%</td></tr> <tr><td>B-2</td><td>61.3%</td><td>64.9%</td><td>63.6%</td></tr> <tr><td>B-3</td><td>69.5%</td><td>64.8%</td><td>60.0%</td></tr> <tr><td>B-4</td><td>64.5%</td><td>62.8%</td><td>68.8%</td></tr> <tr><td>B-5</td><td>59.2%</td><td>61.8%</td><td>67.4%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>53.9%</td><td>51.4%</td><td>61.3%</td></tr> </table> <p>◆その他の指標 (単位 収益：千円、単価：円)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>22年度</th><th>23年度</th><th>24年度</th></tr> <tr><td>入院延患者数</td><td>63,884 人</td><td>61,168 人</td><td>57,057 人</td></tr> <tr><td>1日平均入院患者数</td><td>175 人</td><td>167 人</td><td>156 人</td></tr> <tr><td>平均在院日数</td><td>17.7 日</td><td>18.3 日</td><td>16.2 日</td></tr> <tr><td>入院収益</td><td>2,456,820</td><td>2,307,847</td><td>2,220,652</td></tr> <tr><td>入院診療単価</td><td>38,458</td><td>37,730</td><td>38,920</td></tr> <tr><td>外来延患者数</td><td>86,477 人</td><td>82,152 人</td><td>86,172 人</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>356 人</td><td>337 人</td><td>352 人</td></tr> <tr><td>外来収益</td><td>890,907</td><td>890,834</td><td>902,186</td></tr> <tr><td>外来診療単価</td><td>10,302</td><td>10,844</td><td>10,470</td></tr> <tr><td>室料差額収益</td><td>12,558</td><td>13,555</td><td>11,517</td></tr> <tr><td>受託検査収益</td><td>1,867</td><td>1,793</td><td>1,944</td></tr> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く 注2) 金額は税込で表示</p>	病棟	22年度	23年度	24年度	A-3	59.7%	58.5%	78.3%	A-5	54.3%	33.0%	27.6%	B-2	61.3%	64.9%	63.6%	B-3	69.5%	64.8%	60.0%	B-4	64.5%	62.8%	68.8%	B-5	59.2%	61.8%	67.4%	全体	53.9%	51.4%	61.3%	項目	22年度	23年度	24年度	入院延患者数	63,884 人	61,168 人	57,057 人	1日平均入院患者数	175 人	167 人	156 人	平均在院日数	17.7 日	18.3 日	16.2 日	入院収益	2,456,820	2,307,847	2,220,652	入院診療単価	38,458	37,730	38,920	外来延患者数	86,477 人	82,152 人	86,172 人	1日平均外来患者数	356 人	337 人	352 人	外来収益	890,907	890,834	902,186	外来診療単価	10,302	10,844	10,470	室料差額収益	12,558	13,555	11,517	受託検査収益	1,867	1,793	1,944	III
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																																																																									
共同指導(回)	12.7	12.6	15.5																																																																																																																																									
病床利用率	75.1%	66.3%	48.9%																																																																																																																																									
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																																																																									
FAX 予約	1,253	1,173	1,087																																																																																																																																									
項目\年度	H22	H23	H24																																																																																																																																									
病床稼働率 (%)	77.0	77.2	79.9																																																																																																																																									
平均在院日数 (全体)	13.0	13.2	12.9																																																																																																																																									
平均在院日数 (一般)	12.9	12.9	12.4																																																																																																																																									
一日当たり外来患者数	1,145	1,158	1,184																																																																																																																																									
患者1人当たり 診療単価 (円)	入院 (全体)	54,931	55,134	56,795																																																																																																																																								
	入院 (一般)	-	55,469	58,075																																																																																																																																								
	外来	12,161	12,689	13,412																																																																																																																																								
病棟	22年度	23年度	24年度																																																																																																																																									
A-3	59.7%	58.5%	78.3%																																																																																																																																									
A-5	54.3%	33.0%	27.6%																																																																																																																																									
B-2	61.3%	64.9%	63.6%																																																																																																																																									
B-3	69.5%	64.8%	60.0%																																																																																																																																									
B-4	64.5%	62.8%	68.8%																																																																																																																																									
B-5	59.2%	61.8%	67.4%																																																																																																																																									
全体	53.9%	51.4%	61.3%																																																																																																																																									
項目	22年度	23年度	24年度																																																																																																																																									
入院延患者数	63,884 人	61,168 人	57,057 人																																																																																																																																									
1日平均入院患者数	175 人	167 人	156 人																																																																																																																																									
平均在院日数	17.7 日	18.3 日	16.2 日																																																																																																																																									
入院収益	2,456,820	2,307,847	2,220,652																																																																																																																																									
入院診療単価	38,458	37,730	38,920																																																																																																																																									
外来延患者数	86,477 人	82,152 人	86,172 人																																																																																																																																									
1日平均外来患者数	356 人	337 人	352 人																																																																																																																																									
外来収益	890,907	890,834	902,186																																																																																																																																									
外来診療単価	10,302	10,844	10,470																																																																																																																																									
室料差額収益	12,558	13,555	11,517																																																																																																																																									
受託検査収益	1,867	1,793	1,944																																																																																																																																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																																																																																																																																	
	III	III			III	III			II	II																																																																																																																																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																										
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																									
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																								
<p>(2) 未収金の発生防止対策等</p> <p><b>項目番号 56</b></p> <p>診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手することで未収金発生の未然防止を徹底する。また、23年10月から導入した入院患者に対する退院時請求・支払が行える体制を定着化させるとともに支払に関する相談に応じる体制も確保する。やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すと伴いその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、22年度末から実施した債権回収業務(弁護士法人)にその処理を委託し効果的、効率的な未収金回収に努める。</p>	<p>○発生防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院説明室(H22.5設置)で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。</li> <li>医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。</li> <li>出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。</li> </ul> <p>○回収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月2回、定期的に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。</li> <li>督促状発布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。</li> <li>未納者が受診した際には、面談による納付催告実施した。</li> <li>回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</li> </ul> <p>○回収実績(各年2月時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額</td> <td>64,558千円</td> <td>106,970千円</td> </tr> <tr> <td>回収金額</td> <td>12,397千円</td> <td>30,185千円</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>19.2%</td> <td>28.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○センター全体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未収金対策部会(H22.12設置)がリーダーシップをとり、現状把握、回収・発生防止を病院全体で行った。</li> <li>病棟による支払確認後に退院させるようにし、休日退院患者に対し、可能な場合は退院前に入院費の計算を行い、請求する体制をとり、成果を上げた。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療相談員を2人増員し、各種医療相談への対応を充実させた。(H22から)</li> <li>クレジットカード決済を導入(H22.7)し、支払機会の拡大を図ることで、入院費など的高額な支払が円滑に出来るよう体制を整えた。</li> </ul> <p>○クレジットカード利用実績割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3.29%</td> <td>4.90%</td> <td>6.95%</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>11.20%</td> <td>14.76%</td> <td>18.30%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全体の支払件数、金額に占めるクレジットカード利用率</p>		H24	H25	委託金額	64,558千円	106,970千円	回収金額	12,397千円	30,185千円	回収率	19.2%	28.2%		H22	H23	H24	件数	3.29%	4.90%	6.95%	金額	11.20%	14.76%	18.30%	IV	<p>(2) 未収金の発生防止対策等</p> <p><b>項目番号 53</b></p> <p>入院時説明などを通じて発生防止に努めるとともに、未収患者の来院時における督促を行う。</p> <p>生活困窮者については、入院中からの支払相談を進め、早期の対応を進める。</p> <p>弁護士事務所への回収委託を継続し、未収金の効率的な回収に努める。</p>	<p>(2) 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院案内センターの入院時説明において、入院申込書における保証人欄等の確認を徹底した。</li> <li>生活困窮者については、入院初期の段階に公費負担制度の説明、相談室の案内などを行い、未収金の発生防止に努めた。</li> <li>弁護士事務所への回収(66件)を委託し、より効果的に回収業務を行った。 平成24年度回収実績：4,124千円</li> <li>金融機関での勤務経験があり、債権管理に精通した者を未収金業務専門職員として1名配置し、的確な債権の管理、分納制度の活用、定期的な滞納者宅への訪問などにより未収金の回収を進めた。</li> <li>滞納者宅への訪問をボーナス時期の8月と12月に集中して実施した。(8月：38件、12月：42件)</li> </ul>	III	<p>(2) 未収金の発生防止対策等</p> <p><b>項目番号 47</b></p> <p>医療相談等を積極的に行い、公的制度等を可能な限り利用し患者窓口負担の軽減を図るといった未収金の発生防止対策を進めるほか、発生した未収金に対しては、分納制度等の支払いやすい方法を提示して、未収金の回収に努める。使用料・手数料についても、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料が算定できるよう努める。</p> <p>また、未収金発生リスクの軽減を図るため、コンビニ収納導入の検討を行う。</p> <p>さらに、未収金の回収方法については、少額訴訟制度の活用も検討する。</p>	<p>未収金発生防止については、患者負担の軽減を第一に、入院費用等に高額療養費限度額適用(現物給付)や出産育児一時金直接支払制度利用等努めるとともに、医療相談により、各種福祉制度の申請や市の福祉担当者との連携を図るなど、診療費の負担軽減に努めた。</p> <p>一方、発生した未収金については、定期的に、電話、文書による督促を実施するとともに、支払い困難者については分納方法も活用しながら未収金残高の減額に努めた。</p> <p>また、次年度以降、未収金も含め当院の経営状況や地域医療の課題等について、地域住民に周知する取り組みを行っていきたい。</p> <p>平成24年度末の未収金残高が前年度より約270万円増加したが、年度末に、高額請求となる交通事故による緊急入院が複数件(2件、約290万円)あり、保険金の支払により回収されている一時的なものであった。</p> <p>コンビニ収納について検討したが、専用の納付書の準備、納付書出力のための電子カルテシステム改修等が必要なことから、次年度以降、引き続き県立三病院で協議していく。</p> <p>なお、少額訴訟制度や未収金回収嘱託員等未収金回収強化策については、当院の未収金の分析結果から、その多くが市内の低所得者、生活困窮者ではあるが、個々の事情にあった回収手段を選択しながら、当面、現担当職員と非常勤専門職により未収金の回収に向けて努力する。</p> <p>また、会計の際のクレジットカード使用については、引き続き検討を進める。</p>	III
	H24	H25																														
委託金額	64,558千円	106,970千円																														
回収金額	12,397千円	30,185千円																														
回収率	19.2%	28.2%																														
	H22	H23	H24																													
件数	3.29%	4.90%	6.95%																													
金額	11.20%	14.76%	18.30%																													

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																																									
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価																																																																			
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																						
未収金発生状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>877</td> <td>84,110</td> <td>763</td> <td>73,554</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>429</td> <td>29,932</td> <td>372</td> <td>19,796</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,306</td> <td>114,042</td> <td>1,135</td> <td>93,350</td> </tr> </tbody> </table> ※各年度、翌年5月31日現在の数値 ※H23年度からH24年度で医業収益が1,150百万円増加したのに対して、H24年度に新規で発生した未収金は、H23年度と比較して約10百万円減少した。					H23		H24		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	877	84,110	763	73,554	現年分	429	29,932	372	19,796	合計	1,306	114,042	1,135	93,350	【未収金の発生状況】 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>891</td> <td>54,091</td> <td>682</td> <td>39,909</td> <td>650</td> <td>34,988</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>1,115</td> <td>83,877</td> <td>1,888</td> <td>75,823</td> <td>2,051</td> <td>93,821</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,006</td> <td>137,968</td> <td>2,570</td> <td>115,732</td> <td>2,701</td> <td>128,809</td> </tr> </tbody> </table>					H22		H23		H24		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	891	54,091	682	39,909	650	34,988	現年分	1,115	83,877	1,888	75,823	2,051	93,821	合計	2,006	137,968	2,570	115,732	2,701	128,809	未収金発生状況 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度件数</td> <td>371件</td> <td>340件</td> <td>271件</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>7,296千円</td> <td>5,857千円</td> <td>8,570千円</td> </tr> </tbody> </table>					22年度	23年度	24年度	現年度件数	371件	340件	271件	未収金額	7,296千円	5,857千円	8,570千円
	H23		H24																																																																														
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																																																													
過年分	877	84,110	763	73,554																																																																													
現年分	429	29,932	372	19,796																																																																													
合計	1,306	114,042	1,135	93,350																																																																													
	H22		H23		H24																																																																												
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																																																											
過年分	891	54,091	682	39,909	650	34,988																																																																											
現年分	1,115	83,877	1,888	75,823	2,051	93,821																																																																											
合計	2,006	137,968	2,570	115,732	2,701	128,809																																																																											
	22年度	23年度	24年度																																																																														
	現年度件数	371件	340件	271件																																																																													
未収金額	7,296千円	5,857千円	8,570千円																																																																														
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証 結果	H23 検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																																																																					
				III	IV					III	III																																																																						
(3) 入院時医学管理加算として退院時の開業医への紹介率(退院時加算等40%以上)の向上 <b>項目番号57</b> 平成24年度の診療報酬改定に柔軟に対応し、診療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い、速やかに届出等を行う。特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など収入への影響が大きい加算については、その算定基準(要件)を維持する。 総合入院体制加算:退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上 地域医療支援病院入院診療加算:紹介率40%以上、逆紹介率60%以上				・総合入院体制加算の要件である「地域の他の保険医療機関との連携のもとに、診療情報提供料(I)の加算を算定する退院患者数及び治療し通院の必要のない患者数が直近の1ヶ月間の総退院患者数のうち、4割以上であること」(退院時加算40%以上)が達成できた。 ・実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>13,330件</td> <td>13,538件</td> <td>14,524件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> <td>75.7%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>16,937件</td> <td>16,867件</td> <td>18,488件</td> </tr> <tr> <td>退院時加算</td> <td>42.1%</td> <td>44.5%</td> <td>50.2%</td> </tr> </tbody> </table>					H22	H23	H24	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件	逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件	退院時加算	42.1%	44.5%	50.2%	IV																																																	
	H22	H23	H24																																																																														
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%																																																																														
紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件																																																																														
逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%																																																																														
逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件																																																																														
退院時加算	42.1%	44.5%	50.2%																																																																														
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証 結果	H23 検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																																																																					
				III	III					II	III																																																																						

# 県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

## 2-2-3 費用の削減

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																	
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																																																															
<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>・医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加し、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に活かす。</p> <p>・医薬品費、診療材料費等の材料費を対前年度比で1%の削減を図る。</p> <p>・材料費について医業収益の30%以下を目指す。</p> <p>・ジェネリック医薬品の使用率10.74%（平成22年度使用単位数比較）以上を目指す。 <b>項目番号 58</b></p>	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減を目指した。</p> <p>・医薬品のコスト削減への取り組み状況 先発品から後発品に、院内コンセンサスを得ながら変更した。</p> <p>・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減への取り組み。</p> <p>・ジェネリック医薬品使用単位数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>増加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>11.13%</td> <td>11.27%</td> <td>0.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ジェネリック医薬品の使用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>6.36%</td> <td>6.51%</td> <td>6.81%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>3.87%</td> <td>5.45%</td> <td>5.12%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医業収益に対する材料費比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.46%</td> <td>14.34%</td> <td>13.87%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>13.07%</td> <td>14.06%</td> <td>13.46%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H23	H24	増加率	使用率	11.13%	11.27%	0.14		H22	H23	H24	品目ベース	6.36%	6.51%	6.81%	金額ベース	3.87%	5.45%	5.12%		H22	H23	H24	薬品費	15.46%	14.34%	13.87%	診療材料費	13.07%	14.06%	13.46%	III	<p>「病院経営に関するコンサルタント業務」の活用により材料費の削減を図るとともに、効率的な在庫管理体制の確立を検討する。</p> <p>後発医薬品（ジェネリック医薬品）の積極的採用などにより、薬品及び診療材料にかかる費用の削減を図る。 <b>項目番号 54</b></p>	<p>・薬品について、コンサルティングを有効活用し、契約方法について新たな方法を導入して卸業者間の競争を促し、削減を図ることができた。</p> <p>・診療材料について、コンサルティングを有効活用し、年間契約品や新規採用材料費の削減を図った。また、在庫管理体制の確立のために各部署から物流管理システム（SPD）に対する問題点や要望を聞き、更に業者から最近のSPD及びその運用方法を聴取する勉強会を実施した。</p> <p>【ジェネリック医薬品の使用比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>10.10%</td> <td>13.01%</td> <td>29.21%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>10.00%</td> <td>9.71%</td> <td>9.99%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医業収益に対する材料費比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>14.40%</td> <td>14.20%</td> <td>14.08%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.50%</td> <td>9.40%</td> <td>9.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>1,937,995 円</td> <td>1,958,884 円</td> <td>2,071,569 円</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,423,213 円</td> <td>1,293,587 円</td> <td>1,316,490 円</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	品目ベース	10.10%	13.01%	29.21%	金額ベース	10.00%	9.71%	9.99%	区分\年度	H22	H23	H24	薬品費	14.40%	14.20%	14.08%	診療材料費	10.50%	9.40%	9.00%	区分\年度	H22	H23	H24	薬品費	1,937,995 円	1,958,884 円	2,071,569 円	診療材料費	1,423,213 円	1,293,587 円	1,316,490 円	III	<p>(1) 在庫管理の徹底 <b>項目番号 49</b> 薬品・診療材料及び消耗品については、物流管理システムによる在庫管理を徹底するとともに、薬品・診療材料の新規採用時は、原則として類似品目を廃止することで、費用の削減を図る。</p> <p>医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・誤払出防止など適正在庫の実現と在庫圧縮に努めることで費用削減を図ったほか、新規品目採用時は薬事委員会・診療材料委員会で審議の上採択することとし、その際は原則として類似品目を削除するよう努めた。</p> <p>ジェネリック医薬品の採用比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採用比率※</td> <td>21.3%</td> <td>22.7%</td> <td>25.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※品目ベース</p> <p>医業収益に対する材料費比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>12.1%</td> <td>12.1%</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>8.2%</td> <td>8.2%</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>1.3%</td> <td>1.2%</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>21.6%</td> <td>21.5%</td> <td>19.5%</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	24年度	採用比率※	21.3%	22.7%	25.1%		22年度	23年度	24年度	薬品費	12.1%	12.1%	11.2%	診療材料費	8.2%	8.2%	7.1%	給食材料費	1.3%	1.2%	1.2%	全体	21.6%	21.5%	19.5%	III
年度	H23	H24	増加率																																																																																																				
使用率	11.13%	11.27%	0.14																																																																																																				
	H22	H23	H24																																																																																																				
品目ベース	6.36%	6.51%	6.81%																																																																																																				
金額ベース	3.87%	5.45%	5.12%																																																																																																				
	H22	H23	H24																																																																																																				
薬品費	15.46%	14.34%	13.87%																																																																																																				
診療材料費	13.07%	14.06%	13.46%																																																																																																				
区分\年度	H22	H23	H24																																																																																																				
品目ベース	10.10%	13.01%	29.21%																																																																																																				
金額ベース	10.00%	9.71%	9.99%																																																																																																				
区分\年度	H22	H23	H24																																																																																																				
薬品費	14.40%	14.20%	14.08%																																																																																																				
診療材料費	10.50%	9.40%	9.00%																																																																																																				
区分\年度	H22	H23	H24																																																																																																				
薬品費	1,937,995 円	1,958,884 円	2,071,569 円																																																																																																				
診療材料費	1,423,213 円	1,293,587 円	1,316,490 円																																																																																																				
	22年度	23年度	24年度																																																																																																				
採用比率※	21.3%	22.7%	25.1%																																																																																																				
	22年度	23年度	24年度																																																																																																				
薬品費	12.1%	12.1%	11.2%																																																																																																				
診療材料費	8.2%	8.2%	7.1%																																																																																																				
給食材料費	1.3%	1.2%	1.2%																																																																																																				
全体	21.6%	21.5%	19.5%																																																																																																				
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																																																																																												
	III	III			II	III			III	III																																																																																													

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院			
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	
						(2) 経営意識の向上 <b>項目番号50</b> 毎月の経営情報を院内掲示板で提供することで、職員全員の経営意識を向上させ、一層の費用削減に繋げる。	経営概要（業務量、収支状況）を院内の掲示板「サイボウズ」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、日々の業務において改善できることは直ぐに実行し、費用削減に努めた。	III	
						◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 III	検証 結果
						(3) 内部牽制機能の強化 <b>項目番号51</b> より安価でより効率的な執行に努めるとともに、内部牽制機能を強化することで、安易な執行の抑制を図る。	物品の請求の際は各部署において責任者（看護部の場合は各セクション責任者から看護部）の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。	III	
						◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 III	検証 結果